



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月31日

上場会社名 セントラル硝子株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4044 URL <http://www.cgco.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 皿澤 修一  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長 (氏名) 河部 守弘 TEL 03-3259-7062  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 平成25年12月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	90,444	10.7	4,120	12.1	5,209	28.3	1,393	△36.1
25年3月期第2四半期	81,705	3.4	3,675	70.5	4,058	93.5	2,181	118.3

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 6,778百万円 (-%) 25年3月期第2四半期 △231百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	6.66	—
25年3月期第2四半期	10.42	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	236,118	131,375	54.9
25年3月期	237,382	125,416	52.1

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 129,726百万円 25年3月期 123,729百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
26年3月期	—	4.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	183,000	5.4	8,700	15.2	10,000	9.4	4,400	△9.5	21.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	214,879,975株	25年3月期	214,879,975株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	5,657,611株	25年3月期	5,651,734株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	209,225,287株	25年3月期2Q	209,249,982株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策により、円高の是正や株価が回復し、輸出企業を中心とした企業業績も改善の傾向にあり、景況感には明るさが見られるものの、一方で新興国経済の減速などといった海外景気の下振れ懸念が依然として存在しており、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下で当社グループは積極的な販売活動を展開いたしました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は90,444百万円と前年同期比10.7%の増加となりました。

損益面につきましては、経営全般にわたる業務の効率化・合理化施策を推進してまいりました結果、経常利益は前年同期比1,150百万円増加の5,209百万円となりました。

また、ソーダ灰関連製品の生産停止決定に伴う関連設備の減損損失等を特別損失に計上しましたことにより、四半期純利益は、前年同期比787百万円減少の1,393百万円となりました。

### セグメント別の概況

#### （ガラス事業）

建築用ガラスにつきましては、建築需要の高まりを受け、加工硝子などの出荷が好調に推移しましたため、売上高は前年同期を上回りました。

自動車用ガラスにつきましては、国内の自動車販売はエコカー補助金終了による反動で減少しましたが、北米事業の旺盛な需要により、全体では前年同期を上回る売上高となりました。

電子材料用ガラスにつきましては、タッチパネル関連製品の需要拡大を受け、出荷が増加しましたため、売上高は前年同期を上回りました。

以上、ガラス事業の売上高は50,191百万円（前年同期比11.4%増）となりましたが、損益につきましては、477百万円の営業損失（前年同期比541百万円の悪化）となりました。

#### （化成品事業）

化学品につきましては、新製品の出荷が売上増加に貢献しましたものの、既存の主力製品の出荷が低調に推移しましたため、売上高は前年同期を下回りました。

ファインケミカルにつきましては、半導体リソグラフィ関連製品の出荷が減少しましたが、医薬関連製品の出荷が好調に推移したことや、リチウムイオン電池用電解液の販売も前期から増加しましたため、売上高は前年同期を上回りました。

肥料につきましては、期中に肥料価格が値上げ改定された影響から、前倒し需要が発生し、売上高は前年同期を上回りました。

ガラス繊維につきましては、住宅設備分野の販売や、自動車用途において、採用されている車種の販売が堅調でありましたため、売上高は前年同期を上回りました。

以上、化成品事業の売上高は40,252百万円（前年同期比9.8%増）となり、損益につきましては、4,601百万円の営業利益（前年同期比989百万円の増加）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は236,118百万円となり、平成25年3月末に比較しまして1,263百万円減少しました。主な減少要因は、受取手形及び売掛金の減少により、流動資産が6,111百万円減少したことによるものです。

負債は104,742百万円となり、7,223百万円減少しました。主な減少要因は、短期借入金の返済により、流動負債が6,785百万円減少したことによるものです。

純資産は131,375百万円となり、自己資本比率は、2.8%増加し54.9%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、平成25年3月末に比較し、2,835百万円減少の20,959百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動で得られた資金は、税金等調整前四半期純利益や減価償却費などにより9,444百万円（前年同期比2,223百万円の増加）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得による支出などにより5,209百万円（前年同期比1,879百万円の減少）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、短期借入金の返済などにより、7,573百万円（前年同期比6,024百万円の増加）となりました。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、国内の景気は持ち直しの期待感があるものの、海外経済の動向や原油価格の高止まり、円安による輸入原燃料価格の上昇など、当社グループを取り巻く環境は引き続き予断を許さない状況が続くものと思われまます。

当社グループといたしましては、生産販売体制の強化と原価低減の推進など経営全般にわたる効率化を進め、基幹事業における更なる構造改革を推進するとともに、研究開発及び技術開発を強化し、成長分野への経営資源の重点的な投入を行い、グループ企業力の強化に努めてまいります。

通期の業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間までの業績進捗状況を踏まえ、平成25年5月9日に公表いたしました通期の業績予想を修正し、以下のとおり見込んでおります。

売上高	1,830億円
営業利益	87億円
経常利益	100億円
当期利益	44億円

なお、通期の業績の見通しにおける下期の前提条件につきましては、為替レートを95円/USドル、原油価格をCIF 113ドル/バレルとしております。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当社及び一部の連結会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,954	21,132
受取手形及び売掛金	44,243	39,776
商品及び製品	25,095	25,516
仕掛品	1,540	1,861
原材料及び貯蔵品	11,502	11,306
その他	4,307	4,879
貸倒引当金	△287	△227
流動資産合計	110,356	104,245
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,348	21,531
機械装置及び運搬具（純額）	34,694	33,647
土地	24,672	24,654
建設仮勘定	2,755	3,128
その他（純額）	2,788	2,775
有形固定資産合計	87,259	85,737
無形固定資産		
のれん	—	197
その他	954	919
無形固定資産合計	954	1,116
投資その他の資産		
投資有価証券	34,346	40,375
その他	4,813	5,047
貸倒引当金	△347	△403
投資その他の資産合計	38,811	45,019
固定資産合計	127,025	131,873
資産合計	237,382	236,118

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,905	17,087
短期借入金	32,042	27,446
未払法人税等	2,060	826
賞与引当金	1,252	1,444
工事損失引当金	8	1
災害損失引当金	10	—
その他	19,113	17,801
流動負債合計	71,393	64,608
固定負債		
社債	10,400	10,400
長期借入金	12,069	10,730
退職給付引当金	7,745	7,961
役員退職慰労引当金	37	29
特別修繕引当金	4,506	3,373
環境対策引当金	146	147
その他	5,667	7,491
固定負債合計	40,572	40,134
負債合計	111,965	104,742
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,168	18,168
資本剰余金	8,117	8,117
利益剰余金	93,768	94,522
自己株式	△2,844	△2,845
株主資本合計	117,210	117,962
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,371	13,282
繰延ヘッジ損益	394	261
為替換算調整勘定	△3,247	△1,779
その他の包括利益累計額合計	6,518	11,764
少数株主持分	1,686	1,648
純資産合計	125,416	131,375
負債純資産合計	237,382	236,118

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	81,705	90,444
売上原価	61,510	69,776
売上総利益	20,194	20,667
販売費及び一般管理費	16,519	16,547
営業利益	3,675	4,120
営業外収益		
受取利息	7	9
受取配当金	306	312
為替差益	—	737
その他	1,175	1,040
営業外収益合計	1,489	2,100
営業外費用		
支払利息	245	251
為替差損	245	—
固定資産廃棄損	216	316
持分法による投資損失	5	73
その他	392	369
営業外費用合計	1,105	1,010
経常利益	4,058	5,209
特別利益		
固定資産売却益	—	417
負ののれん発生益	—	44
特別利益合計	—	461
特別損失		
投資有価証券評価損	330	10
減損損失	—	3,482
合弁契約解消に伴う損失	282	—
特別損失合計	613	3,493
税金等調整前四半期純利益	3,445	2,176
法人税等	1,228	735
少数株主損益調整前四半期純利益	2,216	1,440
少数株主利益	35	47
四半期純利益	2,181	1,393

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,216	1,440
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,405	3,923
繰延ヘッジ損益	△350	△133
為替換算調整勘定	244	1,383
持分法適用会社に対する持分相当額	63	164
その他の包括利益合計	△2,448	5,337
四半期包括利益	△231	6,778
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△284	6,639
少数株主に係る四半期包括利益	53	138

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,445	2,176
減価償却費	3,691	4,383
減損損失	—	3,482
のれん償却額	107	21
引当金の増減額(△は減少)	117	△1,182
受取利息及び受取配当金	△313	△322
支払利息	245	251
持分法による投資損益(△は益)	5	73
投資有価証券評価損益(△は益)	330	10
固定資産売却損益(△は益)	8	△418
固定資産廃棄損	216	316
売上債権の増減額(△は増加)	4,931	6,560
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,168	445
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,639	△1,068
未払消費税等の増減額(△は減少)	100	△75
未払費用の増減額(△は減少)	△992	△1,561
その他	1,130	△1,658
小計	9,216	11,436
利息及び配当金の受取額	313	322
利息の支払額	△286	△274
法人税等の支払額	△2,022	△2,040
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>7,220</b>	<b>9,444</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△15	△158
定期預金の払戻による収入	15	158
有形固定資産の取得による支出	△6,861	△4,978
有形固定資産の売却による収入	36	486
投資有価証券の取得による支出	△29	△3
少数株主からの株式取得による支出	—	△296
その他	△233	△417
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△7,088</b>	<b>△5,209</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	552	△5,177
長期借入れによる収入	142	100
長期借入金の返済による支出	△1,579	△1,612
自己株式の取得による支出	△1	△2
配当金の支払額	△627	△836
少数株主への配当金の支払額	△31	△38
その他	△3	△4
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,548</b>	<b>△7,573</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	64	295
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>△1,351</b>	<b>△3,042</b>
現金及び現金同等物の期首残高	17,812	23,795
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	207
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>16,461</b>	<b>20,959</b>

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

- 1 前第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	45,051	36,654	81,705	—	81,705
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	1,052	1,058	△1,058	—
計	45,057	37,707	82,764	△1,058	81,705
セグメント利益 (営業利益)	63	3,612	3,675	△0	3,675

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。

- 2 当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

I 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	50,191	40,252	90,444	—	90,444
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	1,076	1,082	△1,082	—
計	50,197	41,329	91,526	△1,082	90,444
セグメント利益又は損失 (△) (営業利益)	△477	4,601	4,123	△3	4,120

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。

II 報告セグメントごとの固定資産の減損又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ガラス事業」セグメントにおいて、124百万円減損損失を計上しております。

「化成品事業」セグメントにおいて、ソーダ灰及び関連製品の生産を停止することを決定しましたため、3,358百万円減損損失を計上しております。